

第83回 鈴木鎮一記念館コンサート

マーティン・ビーヴァー ヴァイオリン・リサイタル



Martin Beaver

Martin Beaver
Violin Recital

ピアノ / 石川咲子

Sakiko Ishikawa



- ブラームス
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 Op.78 ト長調 「雨の歌」
- ラフマニノフ
ヴォカリーズ
- マスネ
タイスの瞑想曲
- サラサーテ
マラゲーニャ

2017 **5.28** SUN

14:00 開演

■入場無料

鈴木鎮一記念館
展示ホール (定員80名)

第83回 鈴木鎮一記念館コンサート マーティン・ビーヴァー ヴァイオリン・リサイタル



マーティン・ビーヴァー(ヴァイオリン) Martin Beaver

2002年から2013年まで世界的に有名な東京クワルテットの第1ヴァイオリンとして活躍。ニューヨークのカーネギーホール、東京のサントリーホール、シドニーオペラハウスをはじめ世界各地の主要コンサートホールで演奏し、国際的な評価を得て、全世界で絶賛される。独奏会、合奏会など南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地で演奏活動を展開し、オーケストラはサンフランシスコ交響楽団、リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、モントリオール交響楽団、札幌交響楽団、指揮者は秋山和慶、レイモンド・レppard、シャルル・デュトワなどと共演を重ねる。また室内楽では、レオン・フライシャー、リン・ハレル、ピンカス・ブーカーマンなどの演奏家と共演。ピアニストのジョン木村パーカー、チェリストのクライヴ・グリーンズミスとモントローズ・トリオを先頃結成し、演奏活動を行っている。ヴィクトル・ダンチェンコ、ジョセフ・ギンゴールド、ヘンリック・シェリングの各氏に師事。ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール、モントリオール国際音楽コンクール、インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールにて入賞。その後、ヴァイオリンや室内楽の主要な国際音楽コンクールの審査員を務めている。世界5大陸でマスタークラスを開いているほか、カナダの王立音楽院、ブリティッシュコロンビア大学、ピーボディー音楽院、ニューヨーク大学で教鞭をとっている。最近ではイェール大学音楽院のレジデンス・アーティストを経て、現在ロサンゼルス音楽大学コルバーンスクールの教授としてヴァイオリンの指導に当たるとともに、弦楽室内楽の共同ディレクターを務める。



石川咲子(ピアノ) Sakiko Ishikawa

5歳より祖母であるスズキ・メソード、鈴木静子クラスでピアノを始める。

アメリカボストンのNew England Conservatoryにて学士を取得。

1995年以來、スズキ・メソード インターナショナルコンヴェンションやコンサート等で公式伴奏者を務めており、鈴木鎮一ヴァイオリン指導曲集のCD一巻～三巻ではピアノパートを担当している。

またチェリスト・林峰男、倉田澄子、ヴァイオリニスト・松野弘明、水野佐知香、天満敦子、大谷康子と共演するなど、積極的に室内楽、伴奏活動を行ない研鑽を積んでいる。

現在松本の国際スズキ・メソード音楽院、ピアノ副科講師、伴奏講師、スズキ・メソードピアノ科指導者。